

国語の苦手を 克服する方法

2026



- 1、活字を見るのが苦痛です
- 2、説明文が解けません
- 3、物語文が苦手です
- 4、読書は好きなのに正解しません
- 5、記述問題が解けません
- 6、精読から速読へ
- 7、幼児期からできること

1、活字を見るのが苦痛です

文字から映像を思い浮かべるのが苦手
実力に合わない問題をやっている

→分かる語彙、ストレスにならない長さの問題に
レベルを落として取り組む

→10歳未満なら、読み聞かせをしていただく
テキストの問題を保護者が読み聞かせてもOK

→同じ文章を3回は読む

【例題1】文句を言っても仕方がないので僕は黙っていた。

【問】傍線部「僕は黙っていた」とありますが、なぜですか。

【例題2】クラス全員が賛成に手を挙げていた。もしかするとその中には、僕と同じく、密かに反対の人がいたのかもしれないが、それはわからない。僕は先生の方をちらりと見た。しかし、幸いなことに、先生は僕のその視線に気づかなかつたようだ。僕は恥ずかしかった。けれど自分だけが反対してどうなるものでもないと考えた。それはそうなんだろう。だから、半ばあきらめ、自分の行動は間違っていたかもしれないと後悔しつつも、文句を言っても仕方がないので僕は黙っていた。僕は再び先生の方をちらと見た。先生と目が合ったら僕はどんな顔をしただろう。

う。後になってそんなことを考えたが、目は合わなかった。そのとき僕は確かに、手を挙げていた。

【問】傍線部「僕は黙っていた」とありますが、なぜですか。60字以内で書きなさい。

2、説明文が解けません

1) 語彙が足りない

2) 興味がない

→ 不明な語彙は辞書を引く

→ 語彙および関連テーマで話題となりそうなことを学習しておく(テキストで多彩なテーマに触れる、現代文キーワード読解など)

→ 意味がわからなくても問題を解けるようにテクニックを磨く

3、物語文が苦手です

1)感情を読み取るのが苦手

特に、自分と立場が違う人が主人公の場合

2)感情移入したり、しなかったりで読んでいる

→志望校の出題傾向をチェック

苦手な傾向なら、、、そういうテーマの文章を
集中的に対策する

→感情移入せずに、テクニックで解くようにする
偏差値の乱高下がなくなる

4、読書は好きなのに正解しません

読書＝好きで読むもの、解釈は読み手の自由

読解問題＝与えられた素材文の中から答えを探す作業
※答えは一つになる

※著者が問題を解いたら、正答率は？

成績を上げるのに、読書は有効か？

無関係ではないが、直結もしない

受験まで1年を切ったら、積極的には勧めない
テキスト内の文章を大量に読ませた方が良い

5、記述問題が解けません

手順を踏んだ解き方ができていない子が多い
そもそも、選択肢問題もあやしいケース

記述問題の解法は、途中まで選択肢問題と同じ
最後に、字数内に必要な要素をまとめきるスキル
具体⇔抽象、言い換え

基礎(選択問題)80点の子⇔応用(記述問題)30点

6、精読から速読へ

文章の内容を丁寧に読めるようになってきたら、

要約のトレーニングをする

- 1) 段落ごとの要約
- 2) 文章全体の要約

速読トレーニング

3回読みの、2回目・3回目に、
スピードを意識して読み、
何分で読めたか記録をつける

7、幼児期からできること

絵本を繰り返し読んでもらう、自分でも読む

スマホの絵本は論理的思考がぐちゃぐちゃに

親の語彙は読み聞かせで増える

ふりかえり

- ・気づいたこと・感じたこと
- ・やってみようと思ったこと
- ・疑問に思ったこと